

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード		事業名		部名	生活文化部		
	17021		西野公園体育館空調設備整備事業(緊急防災事業)		課名	文化スポーツ課 スポーツ推進G		
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進				款	10:教育費
		施策の方向	02:防災環境の整備				項	06:保健体育費
		戦略プロジェクト	02:「安全カジャンプアップ」プロジェクト				目	02:体育施設費
	事業予定期間		H 28	～	H 29	年度	主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	近年の大規模災害の教訓を生かし、指定避難所(避難拠点施設)である西野公園体育館アリーナに空調設備を整備することにより、南海トラフ地震等による大規模地震災害の発生時に備え、避難所の良好な生活環境の確保を図るものである。
概要	大規模災害発生時に、多数の避難者を収容することが想定される西野公園体育館アリーナについて、避難拠点施設として空調設備を整備する。	

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
③ 事業の計画・実績	年度計画	○西野公園体育館空調設備工事 ・監理業務委託 ・空調設備工事 ・指定管理料補填			
	年度実績	○西野公園体育館空調設備工事 ・監理業務委託 ・空調設備工事 ・指定管理料補填			
事業費	計画額	事業費	124,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	124,000千円		
		その他			
		一般財源	0千円	0千円	0千円
	予算額	事業費	92,822千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	92,300千円		
		その他			
		一般財源	522千円	0千円	0千円
	決算額	事業費 ①	86,886千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	86,400千円		
		その他			
		一般財源	486千円	0千円	0千円
	人件費	総人件費 ②	1,536千円		
		一般職員	1,536千円		
		所要人員	0.20		
		臨時職員等	0千円		
	総コスト(①+②)		88,422千円		
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称 西野公園体育館空調設備工事 進捗率 実施済み事業費／総事業費	活動	計画値	100	
				実績値	100	
				単位	%	
	②	名称		計画値		
				実績値		
				単位		
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 全国高校総体及び国民体育大会の開催に向け、円滑な運営等ができるような施設整備を進めるとともに、開催を契機とした利用者の利便性向上を図るための改修等を行う必要がある。 指定管理者との連携により改修が必要な箇所を確認し、安全確保や利用状況などから優先順位をつけ、計画的に施設整備を進めていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 H30年度開催の全国高校総体ウエトリフティング大会の円滑な運営と一般利用者の利便性を考慮しつつ、大規模災害時の避難所機能の充実を目的として事業を進めた。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 ほぼ当初設計どおり、遅延なく工事が実施できた。 A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 工事の完了にともない、災害時の避難拠点施設として、避難所の良好な生活環境の確保が図れた。 A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 避難所としての機能充実だけではなく、運動施設の設備としての一般利用率の拡大。	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 施設機能の付帯設備として、利用者の有効活用に繋がるPRなどを指定管理者との連携により進める。		
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 費用対効果の向上。		
	対応時期 H30年度以降			

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 スポーツ推進グループリーダー 小林 恵太
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太